

社会貢献委員会事業、子どもの事故未然防止巡回活動の実践

中国遊技機商業協同組合（山本基庚理事長）では、毎年全日遊連において実施されている「子どもの車内放置事故防止対策」の取組み趣旨に賛同し、平素からホール様と連携のある組合員が「ホール駐車場等における子どもの車内放置事故ゼロ」を目指し巡回活動を実施しておりますが、より効果的な実践的活動を行なうための実態把握として、実施予定の中国遊商管内の県遊協を通じてホール様にご協力をお願いし、今年度10月26日鳥取市内のホール様2カ所に山本紘司社会貢献委員長等2名が訪問しました。

はじめて訪問するホール様とは事前の連携と協力体制を密にし、実施当日は新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、店長、社員様から平素の巡回コース等の案内を受けて組合専用の黄色チョッキに幼児車内放置ゼロの腕章(中国遊商作製)を着用しペンライトを使用しながら立体駐車場並びに屋外平面駐車場のそれぞれ駐車車両について巡回活動を実践しました。(写真1・2・3)

各巡回では、無施錠車両は認めず、チャイルドシート付き車両もあるなか、子どもの乗車は認めませんでした。今回、店長等皆様と一緒に巡回する機会に触れ、ホール様自らが駐車場における子どもの車内放置事故ゼロを目指し、巡回時間を設定、管理され監視機器の設置や意識強化のための看板表示を行うなど、強い使命感をもって積極的に取組みされていることを痛感しました。

今回の活動を通じて広い立体駐車場や屋外平面駐車場における巡回方法、時間帯の設定、視認が困難な車両内確認等改めて効果的かつ漏れのない活動を行うことの重要性を再認識するとともに今後の取組に生かしていきたいと考えています。

(写真1)

(写真2)



ホール様・中国遊商の合同確認・点検
(オレンジ色ホール様 黄色中国遊商)



ホール店長様から説明を受けながら点検・確認

(写真3)

子供の車内放置禁止
看板

